

# ミラクール オール水系システム

環境対応型水系仕様の決定版  
においが気になる食品工場様などに最適

ミラクールは販売開始から25年、施工実績は国内外900万㎡以上。  
安心・安全の国産遮熱塗料ブランドです。

ポリカーボネート配合により抜群の耐久性

汚れ防止剤の塗布で美観と遮熱機能を長期間保持

高隠ぺいで、下地の透けもなく上質な仕上がり

付着力に優れ、様々な下地にしっかり密着

ポリカーボネート配合の高耐久トップコート

## ミラクール AQ1000



汚れ防止 特殊親水化剤

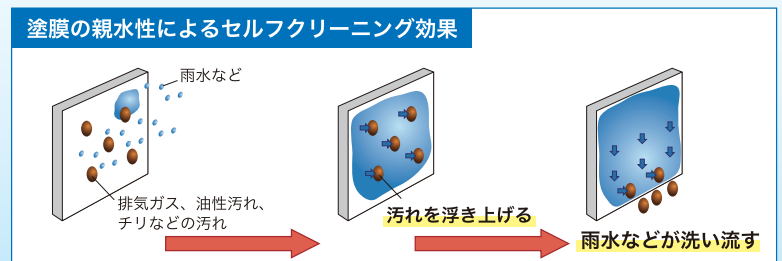
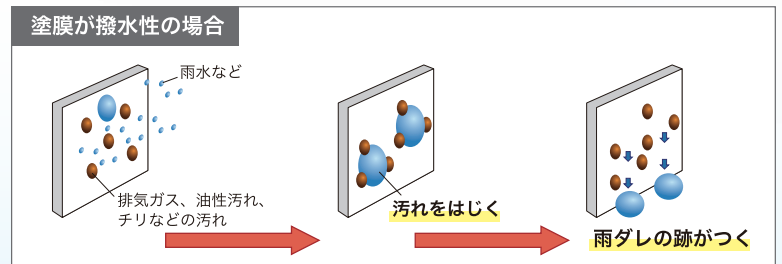
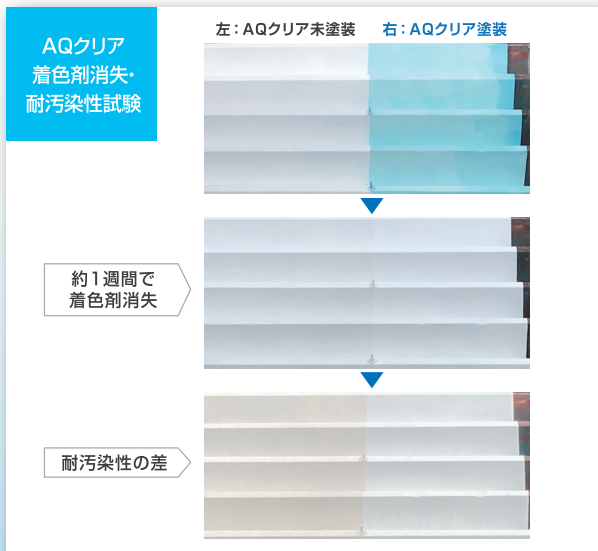
## ミラクール AQクリア

ミラクールAQ1000はポリカーボネートを組み込むことで強靱な塗膜を形成し、溶剤系シリコン樹脂塗料同等以上の耐久性を保持します。

**ポリカーボネートとは？** ポリカーボネートは耐衝撃性に優れており、その強度はガラスの200倍以上とも言われています。カーボートの屋根や車のヘッドランプ、メガネのレンズなど身近なもの他に、機動隊の盾や軍用機の窓などの防弾材料にも採用されています。紫外線にも強いため、屋外で長期にわたり強度を発揮します。

ミラクールAQクリアを塗布すると塗膜が親水性を帯びるため、雨が塗膜に馴染み、塗膜に付着した汚れを洗い流してくれます。

遮熱塗料(高日射反射率塗料)は汚れると性能が落ちてしまうため、AQクリアを塗ることで遮熱機能が長期的に持続します。



# 標準塗装仕様

工程	使用塗料とその処理	塗装方法	所要量 (kg/㎡)	塗装間隔 (23℃)
素地 下地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>錆発生箇所は電動工具、手工具を併用して錆を入念に除去してください。ケレン箇所はミラクール SIIプライマーにて、作業環境や屋根形状により十分な錆の除去ができない場合はミラクール強化防錆コートにてタッチアップ塗装を行った後、下塗り施工を行ってください。</li> <li>既存塗膜がある場合は活膜を残し、膨れ、割れ、浮きが見られる劣化塗膜は、周辺部分を含めて入念に除去してください。</li> <li>新設のガルバリウム鋼板には油分が付着していることが多く、その油分を除去する必要があります。</li> <li>ゴミ、砂塵、油分などの付着物は高圧水洗で除去してください。</li> <li>水洗後は、十分乾燥させてください。</li> </ul>			
下塗り	ミラクール AQ プライマー 主剤 (1缶) : 12.0kg 硬化剤 (1缶) : 1.5kg 清水 : 希釈率 0 ~ 5%	刷毛 ローラー	0.15 ~ 0.17	4H ~ 7D
上塗り (1回目)	ミラクール AQ1000 各色 : 16.0kg/缶 清水 : 希釈率 0 ~ 3%	刷毛 ローラー	0.13 ~ 0.16	3H ~ 7D
上塗り (2回目)	ミラクール AQ1000 各色 : 16.0kg/缶 清水 : 希釈率 0 ~ 3%	刷毛 ローラー	0.13 ~ 0.16	—
汚れ防止 (オプション)	ミラクール AQ クリア 3.0kg/缶	刷毛 ローラー	0.03 ~ 0.04	—

## ミラクール SDGsの取り組み

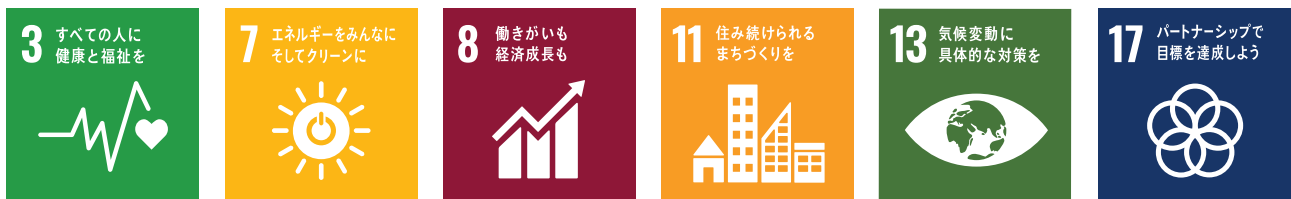
SDGs (持続可能な開発目標) とは、2030年までに解決すべき国際社会共通の目標で、人と地球の未来のために設定されたものです。2015年9月の国連サミットで採択され、先進国と途上国が一丸となって達成することが求められています。誰ひとり取り残さないことを目指し、17の目標と169のターゲットで構成されています。

株式会社ミラクールは、環境対応製品の開発・製造・販売による「環境への負荷の低減」を通じて、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 地球環境、労働環境の負荷を低減します



- 水系塗料、低VOC塗料の開発、製造、販売を拡大します。
- 塗料の遮熱性が、温室効果ガスの排出抑制、ヒートアイランド対策に寄与します。
- 暑さを軽減することで顧客の労働環境改善に貢献し、夏場のマスク熱中症から従業員の皆様をお守りします。
- ミラクールを塗装することで、空調費とCO2がどの程度削減できるかシミュレーションを行うことができます。
- 協力会社と連携し、持続可能な社会の実現に取り組みます。

## 株式会社ミラクール

本社 〒101-0031  
東京都千代田区東神田2-8-15 ケルビンビル4F  
TEL.03-5835-3521 (代表) FAX.03-5835-3522  
E-mail:sales@miracool.jp  
URL https://www.miracool.jp

本所研究所 〒130-0004  
東京都墨田区本所4-29-10 本所ビル3F